

- 実施者：前橋工科大学建築学科 都市・地域計画研究室  
参加者：谷口，坂野，吉田（卒業生），金古，谷畑，中里，長島，林，辛島（指導教員1名）

- 受入集落：二本松市竹ノ内集落

#### ■ 活動スケジュール

4月～11月

- ・ オンライン打ち合わせ
- ・ 事例調査
- ・ 提案・ワークショップ（WS）準備

12/16（土） 前橋から移動 竹ノ内集落到着 WS，宿泊

12/17（日） 空き家活用 解散

2024年1月～2月

- ・ 報告書作成，発表会参加

#### ■ 活動詳細

昨年度までの活動で計画していた，活用予定の空き家を取り壊されてしまったため，①別の建物の選定，②活用計画の検討を実施した。

①では旧木幡第二小学校も活用可能ではないかという意見が住民から得られ，検討を進めた。並行して，別の空き家の選定を進めた結果，活用可能な新たな空き家が見つかった。

②について，小学校については竹ノ内集落だけでなく周辺のお集落も含めた範囲（旧小学校区）での検討が必要であることから，その視点で活用計画を検討した。空き家については，竹ノ内集落コミュニティが主に利用し，コミュニティの活性化を図る方針で検討を進めた。その際，緩やかに集落外の主体と関係人口を創出する視点も加えた。

検討の流れとして，まずは学生チーム（上述の実施者）が主体となり，オンラインミーティングで竹ノ内集落の代表の方の意見を聞き取りながら，案の作成を実施した。その後，12月の現地での活動にて，実際の旧小学校と空き家の状態確認を実施した。その後，住民の方数名に参加していただき，空き家，小学校活用案を観ていただき，意見等を挙げていただくワークショップを実施した。加えて，空き家を実際に活用することで活用のイメージの共有する，活用の第一歩を踏み出すための，お茶会のような場を設けた。

上述の現地活動で得られた情報を踏まえ，旧小学校と空き家の活用案を修正した。



旧木幡第二小学校および空き家の状況調査



空き家活用検討ワークショップ



空き家活用の試行

# 空き家改修案

## 憩いの場

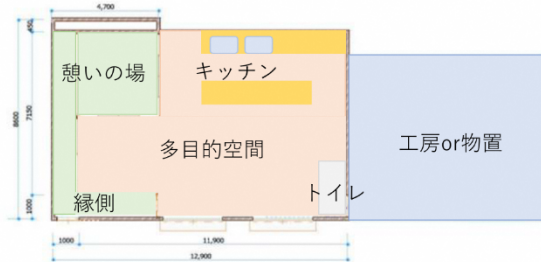
少人数で会話したり、落ち着いて活動したりする際に使用する。

## キッチン

外部から人を呼び込んで使用してもらおう。  
普段は地域住民も使用できる。

## 工房

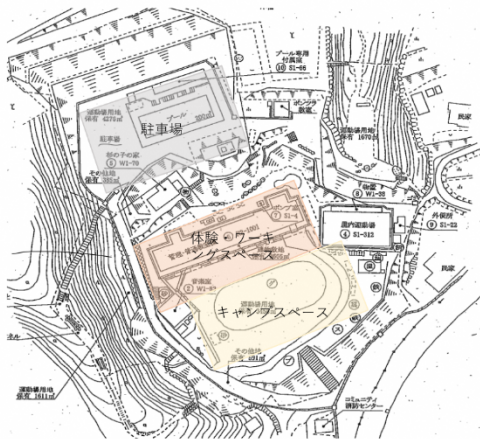
家では作れないものづくりの空間として使用する。  
例) 竹細工など



## 多目的空間 (サロン空間)

農業やものづくりの体験から健康体操や食事会などを地域住民で企画し開催する。  
地域住民の集まる機会を作り出すことで、地域コミュニティの交流が増える。

## 空き家の活用案



## 内容

校舎1階は体験施設とシャワー室、2階はワーキングスペースを設ける。各階に談話室がある。

校庭はキャンパススペースとしてキャンプや車中泊できる。

体験の内容は工芸体験や蕎麦打ち体験ができる。

ワーキングスペースはWi-Fiがつながり、専門家がいる。

## 旧木幡第二小学校活用案

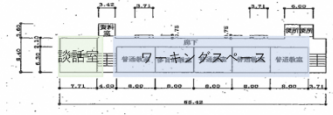
### 地域の活動の拠点

#### コンセプト

地元の人々が気軽に集まれて、宿泊できる施設

#### ターゲット

旅行者・地域の人



## 旧木幡第二小学校の活用案

### ■まとめ

1) 新たな活用可能な建物の検討, 2) 空き家および旧木幡第二小学校竹の活用案の検討, 3) 空き家活用の試行を実施した。

今後の活動として、今年度の活動成果を組み込んだ空き家活用の実践に取り組む。それにより空き家活用の計画を具体化し、より効果的な計画・実践につなげる。

並行して、旧小学校の活用の検討を進める。